



な〜と思っていたところに、友達に「東京に出て、演劇やってみても面白いんじゃない」と言われたので、何のツテもなく漠然と東京に出てきたんです。「東京で、楽しいことができて暮らしたらいいな〜」くらいの動機で上京してしまっただけの少年でした(笑)。東映の演技研修所に入り、週3回で2年間通いました。

卒業後、これからどうしようかと演劇の雑誌をめくっていたら、今も所属している劇団東京ヴォードヴィルショーの募集が載っていたんです。観に行ったらすごく面白かったので、試験を受けて入団しました。当時の劇団は、脚本どおりにやりませんでした。作家が書いたものを、僕たちが若手がガリ版

で台本にするんですけど、先輩たちは3回くらい読んだらおしまい。その場にいる人たちが、グループになってギヤグを考えた面白くしていくんです。もちろん、話全体の流れは変えませんが、でも役者のパワーと生きた言葉で作られる舞台は本当に面白かったですよ。

**「欽ドン」の良い子役  
オーディションは、  
欽ちゃんのモノマネで合格!?**

劇団に入っていないければ「欽ドン! 良い子悪い子普通の子」の良い子役をやることはなかったですね。劇団の本を書িয়েくれたいたドラマ作家が大学生のころ、欽ちゃんのブレンの一人でコントの台本を書いていました。その関係で、欽ちゃんに聞わっていたディレクターやプロデューサーが東京ヴォードヴィルショーの舞台を観に来てくれたんです。そのときにちょうど「欽ドン!」を新しくやるから、東京ヴォードヴィルショーの若手もオーディションに呼んでみようかという話になった。オーディ

ション当日ですよ、マネージャーから「悪いけど、今からフジテレビ行って、欽ちゃんの番組のオーディション受けてくれないか」と電話があった(笑)。でも僕は中学生の時、コント55号の大ファンで欽ちゃんの切り抜きを生徒手帳に入れてたくらいだったから、欽ちゃんに会えるだけで良かった。だからプレッシャーなく元気にのびのびオーディションで演技できるわけです。欽ちゃんは客席で見たいんですけど、僕に「ちょっとその君ね、気取ってやってみて」と言うわけ。僕は演技は上手じゃないけど、中学のころに見ていたコント55号の欽ちゃんの気取った感じを真似てやるわけです。そうしたら「自然に出てくるんです。そうしたら欽ちゃんは「そうそう、そんな感じ!」って。そりゃそうですよ、欽ちゃんの真似しているんですから(笑)。

「欽ドン!」は視聴率40%もありました。家族で同じテレビ番組を観られるいい時代でした。35年経った今でも「欽ドン観てましたよ」と言われるんだから相当すごい番組だったんだと思います。

**とにかく笑って、  
ほろっと感動する舞台を**

僕はやっぱり、芝居より漫才や落語、コントなどお笑いやりたいんですよ。



ね。9月にはパテカンという劇団のコントに日替わりゲストで出演します。それから同じ劇団の大森ヒロシとの「二人の文化祭4」という漫才あり、楽器の演奏あり、朗読と一人芝居、フリートークありといった舞台をやります。

僕はあまり前へ出ないタイプです。ボクシングでいうとカウンター攻撃。誰かがしゃべっているのをちょっともらって、面白いことを言ったり、ちょっと毒を吐いたりするというお笑いスタイルなので、周りに喋ってくれる人がいた方がやりやすいんです。

今後は、お客様に理屈抜きにして、とにかく笑って、最後にほろっと感動してもらいたいような舞台を身体の続く限りやっていきたいですね。それから車に自転車積み込んだり、自転車担いで電車に乗って、いろんなまちをポタリングしたいなと思います。バイクで日本一周もいいですね!

**ミネラルオフで、元どおりの  
水はじきとツヤを取り戻す!**

アイコさんの  
クリスタル  
キーパー  
はじめて物語

コーティングをしたはずなのに、  
水はじきやツヤがイマイチになった…  
これってコーティングが取れちゃったってこと!?



ミネラルは、水道水の他、黄砂、雪道の融雪剤などに含まれています。コーティングをしているのに水はじきやツヤがなくなったと感じたら「ミネラルオフ!」ミネラル膜だけをキレイに除去して、元どおりの水はじきとツヤを取り戻します!

**コーティング車の水ハジキや艶がイマイチになった?  
「ミネラル膜」が、着いたかもしれません。**

※ミネラル膜は、水ハジキと艶を邪魔する「はっ水阻害被膜」なのです。



**ミネラルオフ** (はっ水阻害被膜除去) で、  
元通りの**水ハジキと艶**を取り戻します! 洗車+20分。

